

## 【樹木の部屋】

### トベラ (トベラ科トベラ属 *Pittosporum tobira*)

**和名**：トベラ(扉)、 **別名**：トビラノキ(扉木) **英名**：Japanese Cheesewood

セリ目 常緑広葉樹 **原産地**：日本、朝鮮半島、中国

**花言葉**：偏愛、慈しみ **花の色**：



← 写真-1 トベラ

撮影日：2016年05月28日

撮影場所：カルカソンヌ(フランス)にて

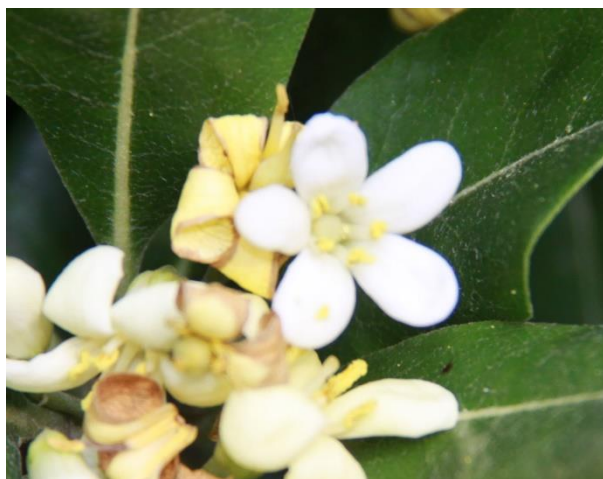
撮影者：M さん

↓ 写真-2 トベラの花

撮影日：2016年05月28日

撮影場所：カルカソンヌ(フランス)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 トベラ

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：京都府立植物園にて

撮影者：M さん

フランス南部の街、カルカソンヌの城塞都市(世界遺産)駐車場に植えられて

いました。トベラは、身近に見られる樹木ですが、ここでは、開花していたので・・・。

主に枝の先に葉が集まって着き、葉は倒卵形。周辺部がやや内に巻くように、葉全体が反っているのが特徴です。観賞用あるいは街路樹として道路の分離帯などに栽培され、雌雄異株です。京都府立植物園散策中にも見かけました。

枝葉は切ると悪臭を発するため、節分にイワシの頭などとともに魔よけとして戸口に掲げられたため、扉の木と呼ばれ、これがなまってトベラとなったそうです。節分の魔除けには、ヒイラギが身近で使用されているようですが、トベラは初耳でした。

葉の様子が、よく似た樹木に、シャリンバイ がありますが、まったく別種。葉は反らないので区別がつかます。

<ちょっと一言>

\*シャリンバイ

**学名** : *Raphiolepis indica* var. *umbellate*

**和名** : シャリンバイ (車輪梅)

バラ目 バラ科 シャリンバイ属  
常緑広葉低木

- ・白または淡紅色の5弁の花（両性花）をつけます。
- ・奄美大島の大島紬では、幹や根のタンニンを含む煎汁を染液として絹に染着させた後、泥に浸漬して黒褐色に媒染する染料に使用されています。